

今日のトピック 不安定な動きが続くインド株式市場（2019年8月前半） 世界的なリスク回避の動きが強まる

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	8月14日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.49	▲0.9	▲5.4	▲4.3	▲6.6
ルピー/米ドル (ルピー)	71.28	0.5	3.8	0.2	2.0
金利 (%)					
政策金利	5.40	0.00	▲0.35	▲0.85	▲1.10
10年国債利回り	6.63	0.26	0.14	▲0.70	▲1.19
株式指数					
SENSEX (ポイント)	37,311	1.7	▲3.7	4.0	▲1.4

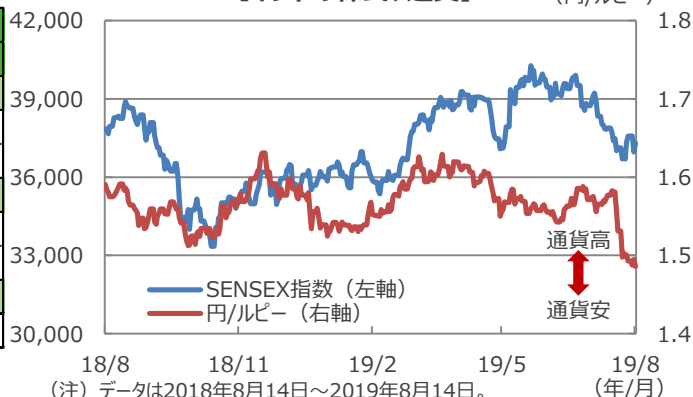
(注) データは2019年8月14日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント)

【インドの株式、通貨】

(円/ルピー)



(注) データは2018年8月14日～2019年8月14日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 株式市場は世界的なリスク回避で不安定な動き

- インドの主要株式指数のSENSEXは、8月も企業業績や米中貿易摩擦への警戒感などから軟調な動きが続いています。トランプ大統領は8月1日、ほぼすべての中国製品に制裁関税を広げる「第4弾」の発動を表明しました。米中対立の一段の激化を嫌気し、SENSEX指数は7日に約5カ月ぶりの安値水準に下落しました。その後、インド政府が外国人投資家に対する追加課税案を差し戻す意向を示したことで急反発したものの、アルゼンチン大統領選の予備選挙で左派候補が優位となったことを嫌気して同市場が急落すると、投資家のリスク回避姿勢が強まり、大幅に反落するなど振れの大きい展開となっています。

ポイント2 インド準備銀行は市場予想を上回る利下げ

- インド準備銀行は8月7日、金融政策決定会合で政策金利を5.75%から5.40%へ引き下げました。市場予想の0.25%を上回る0.35%の利下げ幅とし、政策スタンスについては緩和を据え置き、ハト派的な姿勢を維持しました。準備銀行は2019/20年度のインフレ見通しをほぼ据え置き一方、成長率見通しは7.0%から6.9%へ下方修正し、やや下振れリスクがあるとの認識を示しています。また、準備銀行は、消費者向け信用のリスクウェイトの引き下げや、銀行のノンバンクへの貸し出し規制緩和を発表しました。

今後の展開 追加利下げやノンバンクへの貸し出し緩和は支援材料

- インド株式市場は7月以降軟調に推移していますが、一方で株価バリュエーションの割高感は相当程度押しよせられたと考えられます。また、準備銀行による追加利下げや、銀行のノンバンクへの貸し出し規制緩和で貸し渋りによる信用収縮が和らぎ、民間消費を支援することが期待されます。世界的なリスク回避の動きのなかでも、年度後半の景気持ち直しへの期待から株式市場は底堅く推移するとみられます。

ここも
チェック! 2019年8月 8日 アジア・マーケット・マンスリー (2019年8月)
2019年7月23日 インド株式市場は軟調な展開 (2019年7月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。